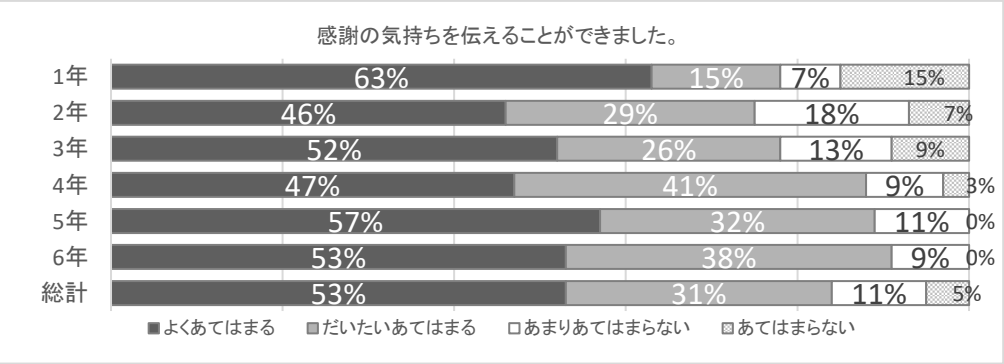
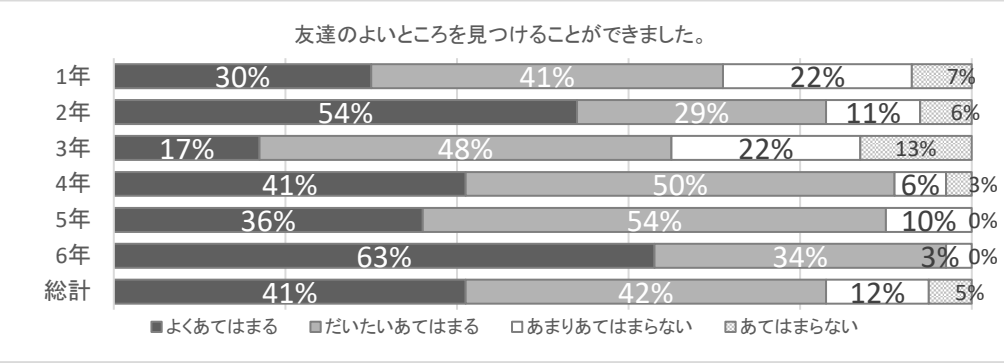
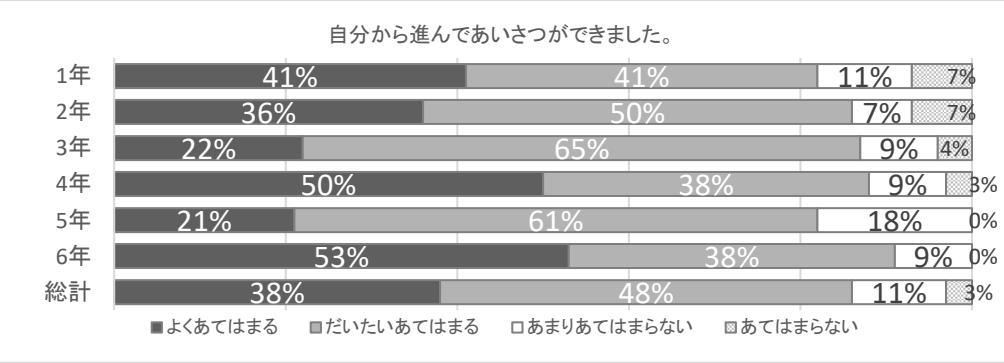
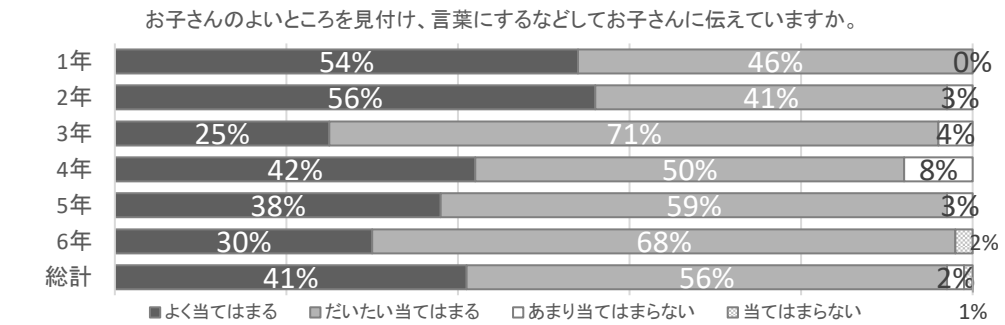
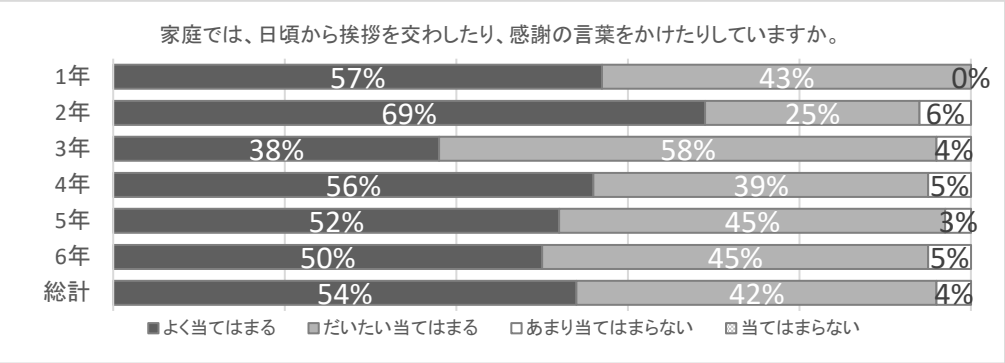


児童



保護者



【○成果 ●課題 ☆次年度への課題】

●「友達のよいところを見付けることができた」と答えた児童は83%と前回より2ポイント下降した。今年度は、友達との関わりが学年間で大きな差があり、数値が高い学年では、互いの頑張りを認め合う取組を普通の授業の中で繰り返し行っていた。また、キャリアパスポートづくりの際にも、児童同士で励まし合う活動を仕組むなど、互いに認め合う機会を意図的に設定していた。

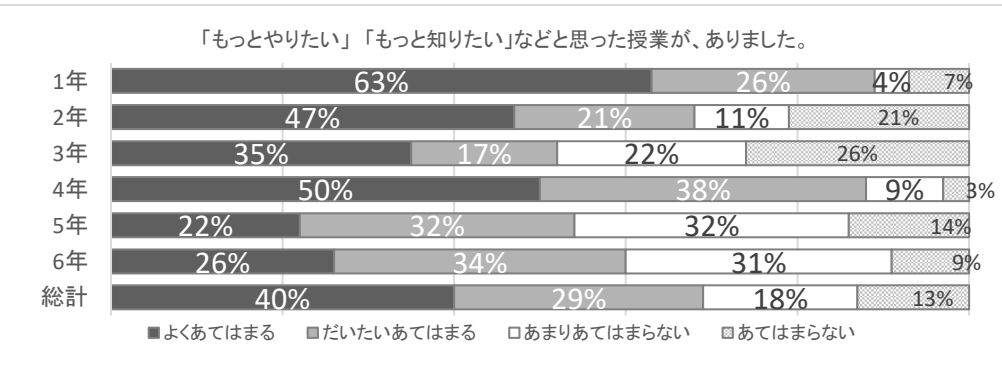
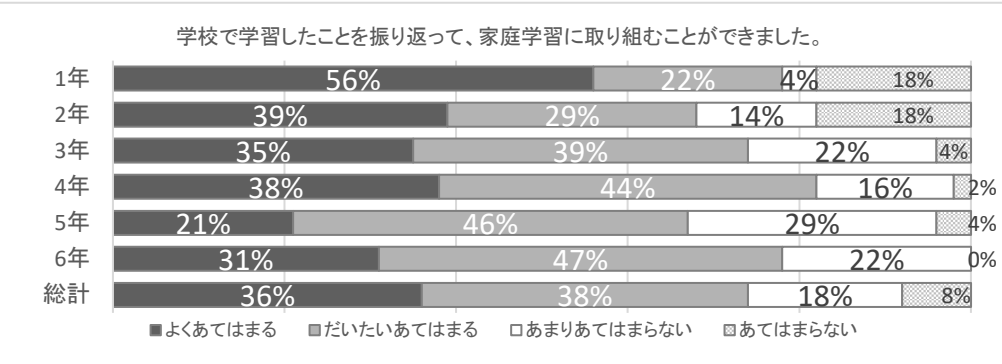
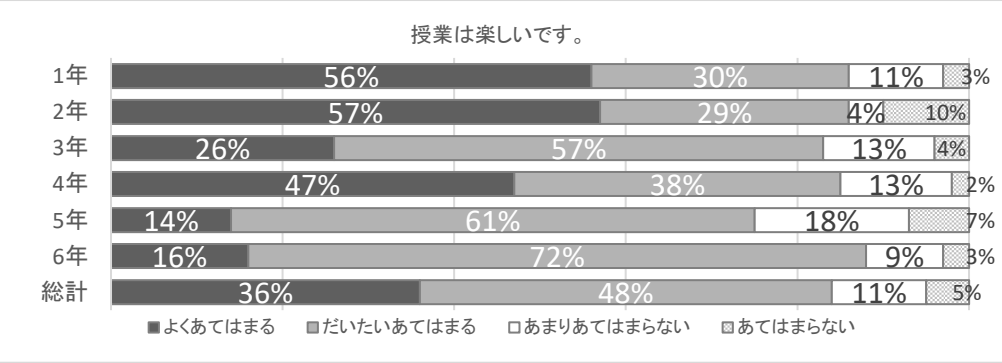
○学習発表会の「頑張りカード」には、友達とよさを認め合う欄や保護者からのメッセージの欄を設けた。児童は、友達とよいところを認め励まし合って練習に取り組んだり、保護者に見てもらうことを目標に頑張ったりしていた。「お子さんのよいところを見付け、伝えることができています」と答えた保護者は97%と非常に高い割合だった。

○3学期は、「感謝」について全校で取組もうと委員会から呼びかけもあった。各クラスでは、給食週間や卒業を祝い集い、各活動で6年生から5年生への引き継ぎ等の取組に、「感謝」の意識をもって取り組んでいる。

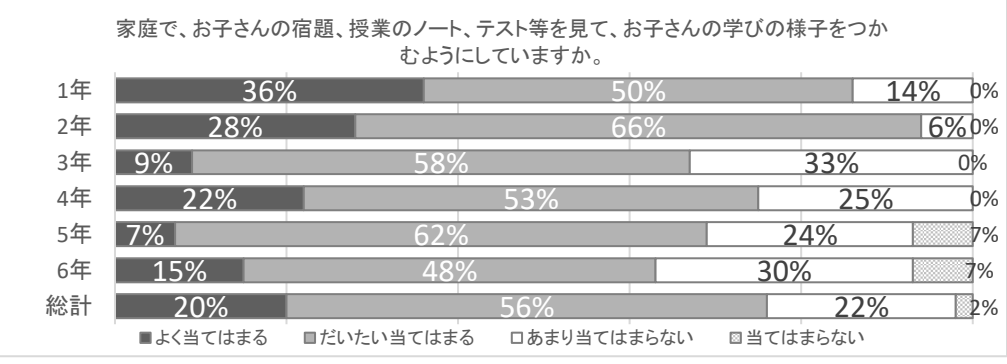
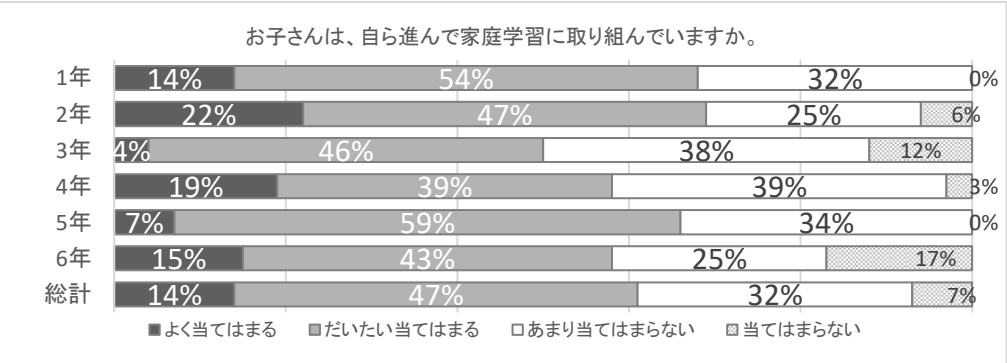
☆運営委員会の活動とからませて、児童の自己肯定感を高めるための取組を継続的に行ってきた。特に低い児童に対して、担任が個別に継続して関わってきた結果、自信をもち、周りを信頼して行動できるようになった児童もいる。自己肯定感を高め、自他を大切に行動を取ることができる児童を育成するために、さらに、生徒指導委員会の機能を生かした体制づくりやその活用について、今後も改善を進めていきたい。

令和6年度 学校評価アンケート
児童

AP2



保護者



【○成果 ●課題 ☆次年度への課題】

○「授業は楽しい」と答えた児童が1、2学期共に80%を超えた。授業を楽しんでいる児童が多くいた。教師が児童に身に付けさせたい力やゴールの姿を明確にして、単元構想をしたり、児童が「もっとやりたい」「分かりたい」と実感し、意欲を高めることができる振り返りの工夫を継続的に意識して取り組んだりした成果だと考える。ゴールの姿を児童と共有して学習に取り組むことで、見通しをもって、意欲的に学習することができたと考える。

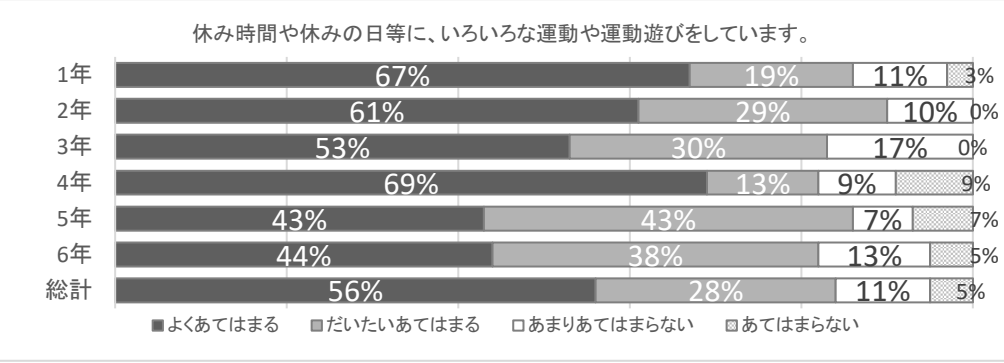
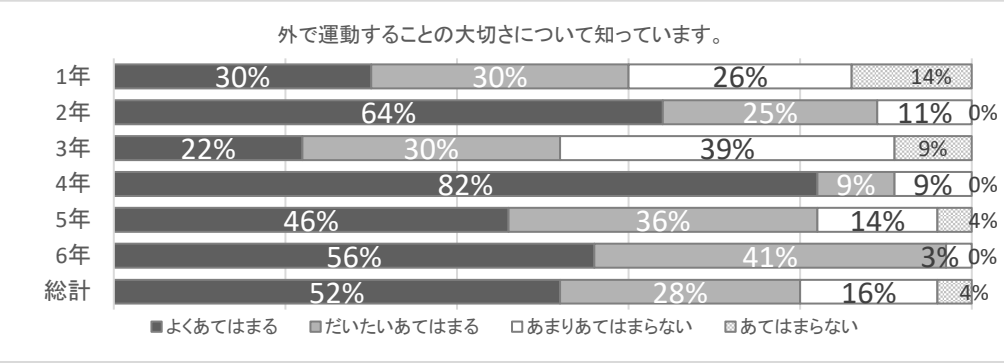
●「もっと知りたい」「もっとやりたい」授業があると答えた児童が69%であった。「授業は楽しい」と思っている、「もっと知りたい」「もっとやりたい」の思いには必ずしもつながらないと考えられる。「分かりたい」という児童の気持ちを大切に、支援をするとともに、「もっと知りたい・やりたい」と熱中できるような工夫も必要である。

●児童と保護者のアンケート結果を比較して、「もっとやりたい」「もっと知りたい」と授業で感じて、家庭学習への意欲にはつながっていないように感じた。次時や家庭学習にもつながるような手立てが必要だと感じた。

☆振り返りの際、視点を与えることで、観点を縛りすぎても、児童の本心の振り返りになっていないときがあるように感じた。教師が振り返りにどれだけ介入するかについても考えていきたい。

令和6年度 学校評価アンケート
児童

AP3



【○成果 ●課題 ☆改善策】

○「休み時間や休みの日等にいろいろな運動や運動遊びをしている」と答えた児童が、1、2学期共に80%を超えた。

○「外で運動することの大切さについて知っている」と答えた児童が、2学期に80%になった。また、「あてはまらない」と答えた児童が減少した。体を動かすイベントや保健の集会等の機会を通して何度も運動の効果を伝えたことで、児童の理解が深まったためと考えられる。

●「休み時間に外で遊んだり、体を動かしたりする児童の割合が85%以上になる」という目標を達成するために、運動イベントの回数を増やしたり、上学年が下学年を誘ったりして、体を動かすことの楽しさを感じられるように働きかけたい。また、3学期は外に出る機会が減るため、サンサンルームを解放して縄跳び等の室内運動ができるようにし、運動習慣を身に付けられるようにする。

☆児童に休み時間の運動を促すことはできるが、休日の運動を促すためには保護者への働きかけが必要である。

☆メディアコントロールと家庭学習をつなげて、「メディアコントロール・自主学習チャレンジ週間」としているが、メディアコントロールと運動を絡める機会を設けることを検討してもよいのではないかと。

保護者

